

舞台が丘公共施設整備事業第2期事業計画に対する パブリックコメントの結果について

1 募集の概要

件名	舞台が丘公共施設整備事業第2期事業計画
意見の募集期間	平成24年1月20日（金）～平成24年2月20日（月）
意見の受付方法	電子メール、ファックス、郵送、担当窓口へ直接
意見の周知	市民説明資料、市ホームページ、エフエムとうみ、中央公民館1階及び2階、北御牧庁舎、総合福祉センター、市立図書館、滋野コミュニティーセンター、柵津公民館、和コミュニティーセンター
結果の公表	市ホームページ、中央公民館1階及び2階、北御牧庁舎、総合福祉センター、市立図書館
提出状況	(1) 提出者数 22人 (2) 提出意見数 67件
実施機関	東御市総務部総務課行政管理係 電話：0268-62-1111 ファックス：0268-63-5431 電子メール：gyoseikanri@city.tomi.nagano.jp

2 ご意見の提出状況と対応区分

区分	内容	提出者数	意見数
A	ご意見の趣旨が、既に反映されているもの。	3	3
B	ご意見を反映させるもの。	5	5
C	ご意見を反映することはできないが、今後の参考とするもの。	16	23
D	ご意見を反映できないもの。	14	30
E	第2期事業計画に対するご意見ではないもの。	5	6
計		44	67

※ 表中の提出者数は、一人で複数の意見を提出している場合があるため、実際の提出者数（22人）と一致しません。

3 ご意見の内容と市の考え方について

番号	意見の内容・要旨	市の考え方	区分
1	防災名目で予算を取り、高校へ補償として10億円を支払い、高校を建替えることを目的としていること、市の施設は市の敷地内で計画すべきで高校の敷地まで手を出すべきではないこと、県立高校の建て替えは県が考えることなどの理由により、市道県・東深井線延伸計画には反対。	今回の事業計画については、防災・減災を重要な目的の一つとしており、事業実施については、市民負担をできるだけ小さくしながら、どれだけ市民益を大きくできるかが重要であると考えています。そのために国の支援をいただく努力をしていきます。 また、市道県・東深井線は公共施設が集中する舞台が丘地域一帯を、市としての広域避難場所、災害時の拠点としての機能強化、緊急時における安全な避難や緊急車両・応援車両等の連絡経路の複数確保など、更には、平時においては、施設利用者の利便性向上といった多くの目的を持った道路であり、今回の計画の核となる施設と位置付けており、高校の建替えだけを目的とした計画道路ではありません。	D
2	高校が暗くて古いのは建物ではなく内容の問題。暗いのであれば照明だけ新しくすればいい。建物が古いなら市民でペンキ塗り、掃除をすればよい。高校を移動させたい理由をはっきり説明しておらず、市道県・東深井線は不要。		
3	大幅な計画変更については、急なことで市民への説明が足りず納得が得られないことや東御清翔高校の敷地を取得してまで道路を造る必要がないこと、3万人程度の小さな市の市役所裏に道路をつくっても交通量が少なく18号線やサンラインもすぐそばにあり、15億円もかける必要がない。		
4	防災と言えれば何でも許されると思っているような感じを受けたが、15億円の道路は作る理由が薄弱。県立高校の建て替え費用を市の事業に入れてやることには反対。		
5	15億円の道路計画について、市民が長年願った道路でもなく費用対効果に疑問を感じた。		
6	東御清翔高校をソフト・ハード両面で充実した高校とするために、高校の全面建て替えに市も協力してもらいたい。	当市に唯一の高校であり、多部制単位制に移行した中で、市としても可能な限り支援をしていきたいと考えています。	B

7	道路が東御清翔高校の敷地にまたがっており問題。	現在、県の高校教育課、東御清翔高校及び関係機関へ説明・協議を行っています。	D
8	高校用地を使う道路及び駐車場の新設はしないでもらいたい。	引き続き、説明・協議を行い、関係機関の理解を得ながら事業を進めていきます。	
9	道路計画について、他地区では不要な道路として大反対されているようだが、和地区、特に海善寺、海善寺北、日向が丘、睦、曾根、東深井、西深井（市人口の約1割）にとっては大変重要かつ必要な道路。市役所周辺は複雑かつ狭く大変不便、市民会館・中学校・病院・中央公園に行くためにも必要な道路。道路建設は将来を見据え、大局的な立場で計画すべきで地域のエゴで反対すべきではない。是非新道路の建設をお願いしたい。	いただいたご意見・主旨を十分踏まえ、事業を推進していきたいと考えています。	B
10	市道県・東深井線を延伸するのであれば、国道まで延伸してはどうか。緊急車両が国道に出るために必要だと考える。18号までの延伸ができなければ消防署をメイン道路に移転させた方が良い。	消防署については、現在の位置に決定した経過、上田地域広域連合との関係、建築から間もないこと等を踏まえ、現在の建物を活用していきます。 消防署から国道18号線への道路につきましても、延伸後の経過を見つつ判断していきたいと思えます。	C
11	経費節約をしなければならぬ今、県立高校を市費で建替えることに疑問を感じる。	市に唯一の高校であり、多部制単位制に移行した中で、市としても可能限り支援をしていきたいと考えています。	D
12	道路は必要ない。高校の問題は別のことであり、合わせてやることではない。人口減少、国・地方の借金問題等を考えると借入金はある限り抑えることを望む。	なお、事業推進にあたっては内容を精査する中でできる限り費用の圧縮に努めていきます。	
13	道路新設についてはもっと考えてほしい、20年～30年先に東御清翔高校が存続しているのか。高校のことは高校に任せるべき。		
14	市道延長計画の費用対効果を根本的に再検討すべき。市の予算で県立高校の体育館を建替えてまで県の土地を購入することは、無駄遣い。	市道の延伸計画は、舞台が丘整備計画の一つであり、計画実現には本道路の整備が不可欠と考えます。	D

15	新設道路については利用台数をどの程度見込んでいるか、周囲の道路が片側歩道であることから、両側歩道の設置は過大投資ではないか。	今後詳細な調査・設計を進める中で決定していきたいと考えます。	C
16	これからの学習は多人数が前を向いて講義を聞くよりも、可変な空間で多彩なワークを行うことで知識をどう活かすかを学ぶ方が重要。よって講義室は不要。各地のコミュニティーセンターや公民館の活用法を皆で考えることから協働を始めてもらいたい。	車座等になってワークショップ等を行うことも学び方の一つの手法として大切であると考えますが、様々な学習ニーズや学びの形態の中で、講義室での講師を中心とした講義形式の学習も必要であると考えます。中央公民館のみならず各地区公民館の活用法を研究していきたいと考えています。	C
17	講義室については、北御牧中学校のホールを活用すればよい。	今回計画している講義室は固定の机とイスを備えた講義利用を中心とした施設であり、年間相当数の利用を見込んでおります。北御牧中学校の音楽ホールは、学校施設であり学校で使用する時以外の使用に限定されるため、生涯学習施設としての利用には、制限が多く、適さないものと考えています。	D
18	これから少子化に向かい各小学校や北御牧中学校があり、また、市の施設があるので講義室の増設は必要ない。	小中学校や地区の各施設については、それぞれの地域性等を活かした利活用を図っていきたいと考えています。	D
19	中央公民館から子育て支援センターが移転したことにより施設が増加したこと、北御牧庁舎の活用、地区公民館に休日・夜間に管理者を配置するなど、既存施設の活用等により、文化活動のさらなる活性化が図られると考える。ラヴェリテや平安閣など民間施設の活用を考慮しても良いのではないかと。	中央公民館 1 階部分の学習室は増えますが、2 階部分については、教育委員会事務局の一体化による事務室及びロビーの拡充等により、学習室は減ることとなり、増加分はそれほど多くはありません。 中央公民館、地区公民館すべてにおいて、休日夜間の管理者を配置するのは、維持管理費の面からも効率性を欠くものと考えます。 また、民間施設の利用は状況に応じて限定的な利用は可能であると考えますが、既存施設の活用を図るとともに、利用頻度が一番多い、中央公民館の施設充実を図ることが文化活動のさらなる活性化につながると考えております。	C

20	陶芸関係の場所は、明神池に登り窯があり活用していることから、こちらへ集約してもよいのではないか。	陶芸室の利用は、市民団体の利用の他、公民館主催の学習講座の受講生も利用しているので、職員のサポートの必要から、現状どおり中央公民館に設置するのが望ましいと考えます。	D
21	十分活用されていない既存の施設（北御牧をはじめとした各地区公民館）を利用することをまず考えるべきで、150人規模の講義室の必要性が感じられない。何も中央公民館ですべてをやることを前提にしないでよい。	既存施設については、現在も地区単位の生涯学習活動等に活用していますが、地域の特色を活かしてさらなる活用をはかしていきたいと考えております。市全域にわたる催事等については、駐車場も十分確保され市内全域からアクセスもしやすく職員のサポート体制も整っている中央公民館の利用要望が多いため、施設の充実を図る必要があると考えています。	C
22	上下水道庁舎は解体せず、耐震改修を行い、1階を学習室に、2階を講義室として利用してはどうか。	舞台が丘全体の景観や敷地の有効活用といった中で、上下水道庁舎については建物の老朽化に加え、使い勝手も良くないことから、今回、建物を解体し市民広場として再利用していきたいと考えています。	D
23	子育て支援センターについて、規模の拡充だけでは利用者は増えない。職員は事務室にいないで一緒に遊んでもらいたい。そこから信頼関係が築け、悩みの相談ができるようになる。	すくすく広場担当については、利用者とかかわりを持つことを重点に考え、現在広場内に常駐する体制をとっています。新しいセンターにつきましても、より一層利用しやすい施設にしていきたいと考えています。	A
24	子育て支援課が子育て支援センターに移動しているが、庁舎内に配置できないか。窓口が2階になってしまい、不便。	子育て支援の一環として、小学校入学まで両課で連携をとり、途切れることなく見守る体制づくりを整えていきたいと考えています。	D
25	駐車場のスペースは広めに確保してもらいたい。また、駐車場内の植栽は駐車障害にならないよう配慮してもらいたい。	外構整備に関する具体的な設計はこれから行う予定ですので、ご意見を参考に利用しやすい安全な駐車場とするよう努めていきます。	B
26	高校用地に計画した道路・駐車場にかわって、新設道路用地の南側用地も取得し駐車場とする。その際、求女川に歩道橋を設置する。	駐車場の利便性を考慮した場合、利用する施設の近くに駐車場があるほうがより利用しやすいと考えます。現在計画している駐車場は子育て支援センター、中央公民館の近くに確保されることから、より利便性が高まるものと考えます。	D

27	<p>駐車場について、立体駐車場を提案したい。災害時には屋根のある避難場所として利用できる機能を持たせたら効率の良い駐車場ができるのではないか。</p>	<p>立体駐車場については、地上式駐車場との比較検討を行いました。将来にわたる維持管理費等が地上式駐車場に比べかかることや、各施設にできる限り近い場所に駐車場を確保したいという考えのもと、今回の計画としました。</p>	D
28	<p>どうして立体駐車場建設を計画に入れなかったのか。立体駐車場にはエレベーターが必要とのことだが、150台から200台程度の立体駐車場であればエレベーターは必要ない。</p>		
29	<p>市役所でゆっくりしたい人はほとんどいないと思う。のんびりするのであれば図書館で十分のため、市民広場は不要。駐車場にしてもらいたい。</p>	<p>市民広場については、平時においては、市役所だけでなく舞台が丘周辺施設を利用する方全体の憩いの場として、また、災害時には炊き出し等を行う防災広場としての機能も備えた施設とする計画です。</p> <p>駐車場利用としての計画も検討しましたが、地形上の問題からあまり多くの駐車台数を確保できず効率的ではありません。</p>	D
30	<p>駐車場については大きなイベント時にはラヴェリテ・八十二銀行・田中商店街の駐車場を借りれば良い。その方が商店街に人が流れて一石二鳥。</p>	<p>駐車場についてはできるだけ施設に近い場所に確保することが望ましいと考えます。</p> <p>イベントの内容や規模に応じて近隣の各民間施設との協力も必要なことと考えますので、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
31	<p>今後予想される災害を想定すると、駐車場の更なる増設・整備が、防災・減災対策として必要になる事態は考えられない。</p>	<p>災害対策本部や広域避難場所等が集まる舞台が丘地区においては、災害時、緊急物資の搬出入や緊急車両や応援車輛の駐車場の確保は必要と考えます。また、現状においても駐車場不足が指摘されているところであり、防災・減災の目的だけでなく、利用者の利便性の向上のためにも駐車場の確保は必要と考えます。</p>	D
32	<p>障がい者駐車場は公民館1階に設け、屋根付としてもらいたい。</p>	<p>中央公民館の障がい者駐車場につきましては現在の2階ロータリー部分だけでなく、南側駐車場を整備し、1階入り口付近にも設置する計画です。屋根については今後検討していきます。</p>	A

33	連絡歩廊について、歩車分離程度で屋根は不要。優先駐車スペースに屋根を設置するだけで十分。それでも不自由な方は、職員がフォローすれば良い。	優先駐車スペースへの屋根の設置につきましてはご意見を参考に検討していきます。 また、連絡歩廊の屋根については、ご意見を参考に検討していきます。	C
34	連絡歩廊については、どの位利用者がいるかわからないようなものは無駄としか言いようがない。	現在の図書館前駐車場の歩行者の往来については危険性を感じており、人と車の動線を分け歩行者の安全を確保するために、歩道を計画したところです。	D
35	市民広場は、コンクリートの打ちっぱなしだけでなく、芝生や樹木を植え、簡単なイベントができるような配慮がほしい。ベンチなどを置き、市民が憩える場としてもらいたい。	平時においては市民の皆さんの憩いの場としてご利用いただき、災害時には炊き出し等が行える防災機能を備えた広場とする計画です。 整備にあたっては、現在植栽されている樹木等をできるだけ活用するとともに、目的と使い勝手を考慮して検討していきます。	C
36	現図書館前駐車場の西側道路が狭いため拡幅し、公民館まで一平面にして駐車場に整備した方が図書館前の駐車場からの出入り、子育て支援センターの入り口が西側になることから利用しやすくなり、急こう配も解消できる。	道路・駐車場については、ご意見を参考に外構整備においてできる限り歩行者等の安全確保に努めてまいります。基本的には現在の地形を生かした中で使い勝手の良いものとなるよう整備を進めていきます。	C
37	予定の費用より大幅に増加しており問題がある。	事業計画の見直しによる予定費用の増額変更については、今後の財政見通しなどを十分検証し、決定してきたところであり、ご理解をお願いします。	C
38	これ以上、市の借金を増やすことには反対。	今後とも、健全財政維持のため、長期財政計画を立案し、計画的な起債の借入を行ってまいります。	C
39	国からの交付金も国債という借金であり、それらを払うのは東御市民も含む日本国民で、我々と無関係ではない。どちらにしても税金なのだから、もっと税金の使い方に真剣に向かい合ってほしい。税金の使い方に緊張感がないように感じる。	税の有効活用を念頭に置き、市にとって必要な事業を、国からの交付金を活用し進めていきます。	C

40	<p>事業には反対。市民の高齢化が進み子供が少なくなってきたり国の財政支援頼みのようだが、大丈夫か。説明資料に「市民の皆さんの将来への負担を増大させることのないように」と書いてあるが、税金を絶対に上げないというような文書をお願いしたい。</p>	<p>市財政に重大な影響を及ぼすような事態を招かないように、今後の財政見通しなどを十分検証し、本事業計画を策定しました。</p> <p>なお、今回の事業により市税を上げることはありません。</p>	D
41	<p>国からの補助金は使わなければ損という考え方はやめるべき。</p>	<p>補助金があるから事業を行うのではなく、市にとって必要な事業の実施にあたり、市民負担を極力減らすために、有利な補助金の活用により事業を進めていきます。</p>	C
42	<p>交付金は個人個人の税金。次の世代のためにも市の積立金を増やしてもらいたい。無駄なことはやめてもらいたい。</p>	<p>基金の積立残高は平成 23 年度末では約 63 億円の決算になる見込みです。</p> <p>今後とも、市政の停滞を招かぬよう、基金を有効に活用しながら施策を推進するとともに、徹底した経費節減により、基金の安定的な確保を図っていきます。</p>	C
43	<p>駐車場の確保、東御清翔高校の単位制多部制に合った再構築、市道県・東深井線の延伸による利便性・安全性の向上、災害時の避難所の充実、市民活動の拠点づくりの点からこれに勝る計画は考えられないが、費用の圧縮に努めること。</p>	<p>事業の実施については更に内容を精査し、事業費の圧縮に努めていきます。</p>	B
44	<p>計画推進にあたっては景観に配慮してもらいたい。</p>	<p>外構整備等事業推進にあたっては、電線等の整理等も実施し、景観の向上に努めていきます。</p>	A
45	<p>庁舎、中央公民館、図書館等が、狭い1箇所を設置されていて問題。</p>	<p>既存の建物をできるだけ活用するという基本構想の方針に基づき、現在ある施設を有効に活用し、利用者の利便性の向上に努めていきます。</p>	D

46	<p>庁舎増改築、<u>勤労者会館・中央公民館の改修、場内整備、東御清翔高校の一部建物の取り壊し・建替え、市道県・東深井線新設</u>の他、市民病院の赤字、御牧の湯改築など、あまりに大金を使うことばかり。5か年計画、10か年計画などもっと計画性をもって取り組んでもらいたい。</p> <p>上記下線部は5～6年先でも良い。</p>	<p>市の事業においては、これまでも長期財政計画や事業の実施計画などにより計画的に事業を進めてきております。</p> <p>今回の計画についても、合併特例債、国からの交付金など有利な財政支援を得ながら、将来にわたる市の財政状況を総合的に判断し、実施時期を決定していきます。</p>	C
47	<p>工事（事業）を行う前に市民に対して説明をし、市民の納得が得られた上で進めてもらいたい。また、説明会だけでなく広報等でも市民に知らせることが重要。</p>	<p>これまでも、必要に応じて市民説明会等を実施してきているところではありますが、今後も市報やホームページで情報提供を行うとともに、「ふれあい市長室」や「市政への提言私の一言」などでご意見をお聞きしていきます。</p>	C
48	<p>第2期工事はできるだけ簡素にして余計なお金をかけないでほしい。市民の生活・福祉・介護にもっと市政の重点をおいてほしい。道路や箱物は十分足りている。</p>	<p>事業の実施については更に内容を精査し、事業費の圧縮に努めていきますが、防災・減災機能の強化に必要な施設整備については、財政状況等を考慮しながら実施していきます。</p>	C
49	<p>道路を通すことで10億円支援が得られ、駐車場確保・高校の建て替え・道路の利便性向上、防災の拠点づくりができるのであれば、二度とないチャンス。高校は時代の変化の中で生き残るために多部制を選択している。卒業生の意見として高校を発展させるためには老朽化した校舎をコンパクトに建替えて特徴ある学校に整備することが不可欠。一つ一つ考えれば消防署の移転、立体駐車場も良いが、総合的に考えれば、この方法しかない。財政状況が厳しいとは思いますが、目先より将来を考え今回の整備計画を実施すべきであり、期待している。</p>	<p>いただいたご意見・主旨を十分踏まえ、市の置かれている現状と、将来を見据え事業を推進していきたいと考えています。</p>	B

50	<p>現消防署は市で引き取り中央公民館と歩道橋若しくは地下道で結び利用方法を検討してもらいたい。その上で、消防署を市役所北西側の新設道路北側へ移転することとして用地を確保する。</p>	<p>消防署については、現在の位置に決定した経過、上田地域広域連合との関係、建築から間もないこと等を踏まえ、現在の建物を活用していきます。</p>	D
51	<p>高校を横断している道路は地元県区の東西を結ぶ道路であり、戦前から利用されており、小学生の通学路として父兄が安心できる道であるため、廃道としないでもらいたい。</p>	<p>ご要望の箇所につきましては、廃道と考えています。</p> <p>また、現在の通学路につきましては、歩道がなく歩行者の横断場所において危険とのお話も伺っています。</p> <p>今回計画する県・東深井線につきましては、車と歩行者を分けた道路として整備予定で歩行者の安全の確保を行っていきます。横断箇所についての安全対策につきましては、今後設計業務を実施していく中で公安委員会と協議をする予定です。小・中学生の通学路として安全・安心な道路となるよう努めていきます。</p> <p>なお、道路に併設されています用水路及び用水の管理道路につきましては今後、県と協議をしたいと考えています。</p>	C
52	<p>廃道とする場合は、御膳水北側から夏目田の神社付近にむけて3～4m程度の道路を新設してもらいたい。できれば東御交番上のT字路まで延長してもらいたい。</p>	<p>現段階では、この道路計画はありませんが、ご要望としてお聞きしておきます。</p>	D
53	<p>消防署の位置が最適であるならば、国道18号に出る道路の拡幅工事の方が優先するはず。18号に出る専用道路を作ってはどうか（距離も短い）</p>	<p>県・東深井線の延伸計画の目的について、平時における消防署の出動時間短縮は目的のひとつではありますが、その他に公共駐車場の確保・公共施設へのアクセス向上・施設利用者の安全確保・災害時におけるアクセスの向上等の目的があり、延伸することによりこれらの問題が解消されるものと考えています。</p> <p>消防署から国道18号線への道路につきましても、延伸後の経過を見つつ判断していきたいと思っております。</p>	C

54	<p>市報や各戸に配布した資料には高校建替えの意図が一切書かれていない。説明不足であり市報などで広報すべき。</p> <p>パブリックコメントで出された意見も賛成、反対のパーセントを分かりやすく表にし、ホームページではなく市報で公表すべき。</p>	<p>現在、高校敷地・校舎の取り扱いについては県及び関係機関と協議中であり、いただいたご意見を参考に今後検討していきます。</p> <p>なお、パブリックコメントは計画に対する賛否を問うものではありません。</p> <p>出されたご意見については、計画に反映できるかどうかについてそれぞれ区分表示を行うこととしており、結果については市報でも公表していきます。</p>	C
55	<p>災害時の拠点については、各地区公民館や集会所があり、高校も内容を充実させ、避難所となるよう整備すればよい。</p>	<p>東御市地域防災計画において、災害時の第1次避難場所として各地区公民館等が位置付けられています。災害対策本部の設置や広域的な避難施設（他地域からの避難者の受け入れ等）、緊急物資の搬出入等、全市的な災害時の拠点として舞台が丘周辺施設の一体的な整備は必要と考えます。</p>	C
56	<p>予想される災害の内容・規模を想定せず計画の見直しを図ることはナンセンスであり、再検討すべき。</p>	<p>東御市地域防災計画における地震による被害や3.11東日本大震災からの教訓、浅間山の噴火における土石流などを想定した中で、更なる防災機能の強化を目指して計画の見直しを行ったものです。</p>	C
57	<p>停電時に太陽光パネルが発電した電気を利用できるようにする電源装置の導入を検討してもらいたい。</p>	<p>中央公民館に太陽光発電装置を設置する予定であり、いただいたご意見についても、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
58	<p>東御清翔高校グラウンド南側市道は廃路とし、新たな道路を造る事には反対。理由は、グラウンド南側市道は県区住民の生活道路になっていること、高齢者等にとって最寄りの医療機関への最短道路であること、最寄りの公共交通機関への最短道路であること、県区内住民に必要な幹線道路であること、利用状況からみても閑道ではないこと。</p>	<p>既存市道を廃道することに関しましては、地元県区を始め、周辺住民の皆さまにご迷惑をおかけするところですが、市道県・東深井線の延伸により、廃道となる市道機能を補填できるものと考えています。</p>	D

59	<p>グラウンド南側市道の廃道については、県区住民説明会の際、反対表明をしている。県区民の了解を得ることなく市道廃道計画案を立案しないでもらいたい。また、再度説明会をするといわれているが、いまだに実現していない。説明会の計画図に載せないで、後出しで市道廃道計画案を出すことはゆるされない。</p>	<p>住民説明会の際、グラウンド南側市道の廃道についての説明をさせていただきました。今後、地元区の皆様と協議をさせていただき延伸される県・東深井線が、より良い道路になるよう検討していきたいと考えています。</p> <p>また、説明会につきましては、平成24年3月25日に開催させていただきました。</p>	C
60	<p>既存市道廃道や通行車両を遮断することを含む新道建設計画案は市民憲章にかけ離れており、反対。</p>	<p>既存市道を廃道することに関しましては、地元県区を始め、周辺住民の皆さまにご迷惑をおかけするところですが、県・東深井線の延伸により、廃道となる市道機能を補填できるものと考えています。</p>	D
61	<p>グラウンド南側市道は土砂災害警戒区域の南端にあたっており、上流から下流への災害波及の流れにより、道路・橋脚の損壊が予想された際、河川と河川間の道路の存在が重要であり、むやみに公道をなくしてはいけません。</p>	<p>今回整備計画しております県・東深井線につきましても、土砂災害（土石流）警戒区域の南側であることから、災害時には重要な道路となると考えており、現在のグラウンド南側市道の機能は補填できると考えています。</p>	D
62	<p>庁舎の清掃などは委託ではなく、職員が行うなど無駄を排除してもらいたい。</p>	<p>第2期計画に対するご意見ではありませんが、貴重なご意見として今後、参考とさせていただきます。</p>	E
63	<p>行政の中心部にいつでも活用できる若い力が大勢いることは心強く、市と東御清翔高校で災害時の応援協定を結んでもらいたい。</p>		
64	<p>新庁舎の中庭について、憩いと安らぎの空間にしてもらいたい。そのため、全面芝生にしてもらいたい。屋外用のイスとテーブルを設置してもらいたい。子供連れのためにあまりスペースを取らない遊具を設置してもらいたい。落葉樹のシンボルツリーを植樹してもらいたい。</p>		
65	<p>北庁舎、西庁舎の入り口の段差の解消を図ってもらいたい。高齢者・車いす対応を。</p>		

66	勤労者会館にも太陽光発電設備を設置してもらいたい。	第2期計画に対するご意見ではありませんが、貴重なご意見として今後、参考とさせていただきます。	E
67	上田市は施設利用料を取っているのに、東御市は無料となるため、文化団体の登録に東御市の人が入っていると無料利用できることから、東御市の施設利用が多いと聞いている。運営についてもこの機会に再検討してもよいのではないか。		